

2021
オリンピック
特集号
No.85

ほなみ 穗 濤

For WASEDA University Old Boys & Girls

発行所
早稲田大学藤沢稻門会

発行人 内田 進
穂 濤 編集委員会

TOKYO2020



藤沢市長 鈴木恒夫

コロナ禍にも負けず開催!!

へ向け盛り上がっていましたが、残念ながら現地での活動や観戦はできなくなってしまいました。しかし、ICTの普及もあり、様々なアングルの中継映像等を通して、スポーツの魅力を再発見、再確認する良い機会になりました。

天高く空の青さも美しく、スポーツの秋、文化の秋、本来ならば何をするにも気持ちの良い季節でございますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で自粛を余儀なくされているのではないかとお察し申し上げます。

さて、一年延期したうえ、当初想定していた形とは違い無観客という制限下での大会になりましたが、東京2020オリンピック・パラリンピックが無事行われました。我が藤沢市江の島ではセーリング競技が行われました。会場となりました江の島ヨットハーバーは、1964年の東京オリンピック開催にあわせて整備された日本初の競技用ヨットハーバーで、その時使われた聖火台は今も残つております。

2回目のオリンピックということで事前から国際大会が多く開催され、地元小学生やシティキャスト（都市ボランティア）さんはじめ多くの市民の皆様がおもてなし



セーリングの練習風景

こうしたオリンピック、パラリンピックの経験や感動は、子どもたちをはじめ、多くの方々の夢や希望につながるだけでなく、スポーツ文化の定着やボランティアの促進、そして文化芸術活動の振興など、まちの魅力を創出し、次世代を担う子ども達に継承していく

ご協力いただいたボランティアの方々の想いを継ぎ、今後の様々な活動を通して、藤沢らしさを創出しています。藤沢市では東京オリンピック・パラリンピックを契機として、10月1日に「スポーツ都市宣言」を行

江ノ島ボランティア体験

TOKYO2020

東京オリンピックセーリング会場である江ノ島ヨットハーバーにて、取材メディアのサポートであるプレスオペレーションのボランティアとして活動しました。無観客開催となつた今大変を担う子ども達に継承していく

かと思います。さらに大会に向けて、レガシーを創り出せたのではないかと想います。さるに大会に向かって、運営スタッフを除けば私たちメディアサポートのみとなり、プレスオペレーションの役割は極めて重要です。

私たちの仕事は、毎朝の取材用ポート割り振りと案内、試合終了後のインタビュー場所での交通整理、表彰式への案内、記者会見の運営、移動のためのタクシー手配、その上に万全の感染対策のため、頻繁な会場全体の消毒実施など大変慌ただしいものでしたが、ステッパーバイザーの適切な指導のもと、極めて充実した活動となりました。



江ノ島プレスオペレーションセンター

から祝福いたなりましたし、プロフェッショナルとして、良い写真を撮り、印象深い記事で想いを伝えたい、というメディアの誇りを間近で実感できました。感染症の広がる中、私も参加について迷いましたが、最終日に "Congratulations, everyone went well!" と海外メディアの方々に労いを頂いたことは、唯一無二の貴重な体験となり心から感謝しています。

いました。スポーツの果たす役割は今後ますます重要なになってくると考えられます。藤沢のまちが、スポーツを楽しむ元気な市民であることを目指してまいります。（昭和48教育・社会）

林 陽子

（平成11文学）

